

**2021年春運行開始予定 ロングシート・クロスシート切替可能で座席指定列車や貸切イベント列車などに対応
車内設備を一新した新造車両 4両編成2本導入
ウィズコロナ時代に合わせた新しい通勤環境を提供します**

京浜急行電鉄株式会社（本社：横浜市西区，社長：原田 一之，以下 京急電鉄）では，座席指定列車や貸切イベント列車などフレキシブルな運用に対応するとともに，ウィズコロナ時代において安心・快適に電車をご利用いただけるよう，車内設備を一新した新造車両を導入します。

今回新造する車両は，座席指定列車や貸切イベント列車に対応できるようロングシートからクロスシートに切替可能な自動回転式座席を採用し，座席幅もウィング号等で使用している2100形より10mm拡幅した京急車両の中で一番広い座席を提供いたします。また，京急車両では初めてバリアフリー対応の洋式トイレや全座席にコンセントを設置し，通勤時の利便性を向上するとともに，防犯や迷惑行為等の防止を目的に，防犯カメラを各車両に設置し，お客さまに安全・安心してご利用いただける車両です。そのほか，ウィズコロナ時代に合わせ，新型コロナウイルス等に対する抗ウイルス効果が確認された抗菌・抗ウイルス座席シート地を採用するとともに，冬季の暖房と外気導入空調による換気を両立し，車内換気を維持しつつ，安心・快適な車内環境を提供いたします。

新造車両は，4両編成を2本，計8両導入し2021年春から順次営業運転を開始する予定です。

京急電鉄は，環境への取り組みとして省エネルギー車両の導入を推進し，環境負荷の低減に努めるとともに，車両等の定期消毒作業や外気導入空調による換気など，快適な車内環境を維持し，安心してお客さまに電車をご利用いただけるよう，努めてまいります。

詳細は別紙のとおりです。



最終製作中（2020年12月現在）



新造車両イメージ

新造車両の導入について

1. 導入時期 2021 年春（予定）

2. 形 式 1000 形

3. 車 両 数 4 両編成 2 本 計 8 両 ※車両番号は、1891-1～1891-4, 1892-1～1892-4

4. 車内仕様

(1) 車内設備

イ. 自動回転式シート（L/C 腰掛）を採用

平常時はロングシート，座席指定時はクロスシートに，さまざまな利用シーンに対応いたします。

ロ. 座席幅を拡幅

座席幅を 460mm/人とし，2100 形と比較すると 10 mm 拡幅し，ゆとりある座席を提供いたします。

ハ. バリアフリー対応の洋式トイレを設置

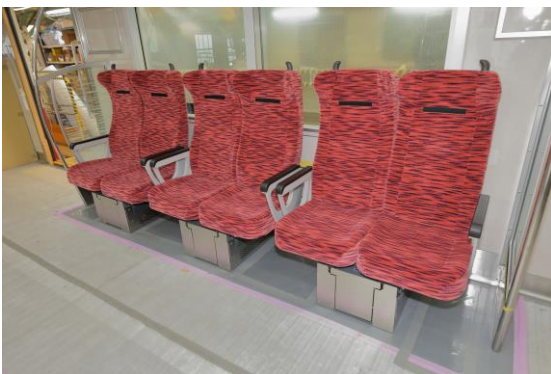
2 号車にバリアフリー対応の洋式トイレを設置，3 号車に男性用トイレを設置し，長時間乗車されるお客さまにも安心・快適にご乗車いただけます。

ニ. フリースペースの設置

2，3 号車にベビーカーや大きな荷物をお持ちのお客さまが利用できる「フリースペース」を設置いたします。（1，4 号車には，車いすスペースを設置）

ホ. コンセントの設置

各 L/C 腰掛に 2 ロコンセントを設置し，通勤時の利便性を向上いたします。



ロングシート製作中（2020 年 12 月現在）



クロスシート製作中（2020 年 12 月現在）



ロングシート完成イメージ



クロスシート完成イメージ

へ. 防犯用カメラを設置

各車両3台設置し、安全・安心を提供いたします。

ト. 「抗菌・抗ウイルス」座席シート地を採用

新型コロナウイルス等に対する抗ウイルス効果が確認された「抗菌・抗ウイルス」座席シート地を採用し、ウィズコロナ時代に合わせた安心な車両を提供いたします。

チ. 座席シート地デザインの変更

「三浦半島の旅」を想起する波をイメージしたデザインにいたします。

リ. ドアと座席の仕切りを変更

強化ガラス製の仕切りを採用し、ドア付近にお立ちのお客さまと着席しているお客さまの相互干渉を考慮した高さにいたします。

ヌ. つり手の改良

立席のお客さまの握りやすさ、安全性を高めるため、つり手の径と太さを拡大いたします。

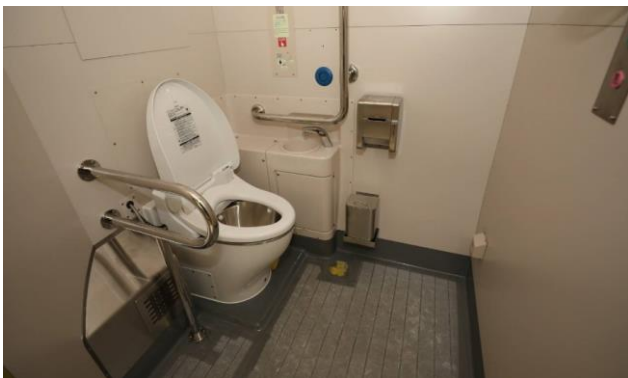
ル. 前面展望席を復活（乗務員室後方にクロスシート設置）

1000形ステンレス車（2007年～2019年新造）から廃止となった前面展望席を復活し、前面展望をお楽しみいただけます。

(2) 空調装置

外気導入空調による車内換気

冬季の暖房と換気を両立し、快適・安心な車内環境を提供いたします。



バリアフリー対応トイレ製作中（2021年1月現在）



バリアフリー対応トイレ外観イメージ



男性用トイレ製作中（2021年1月現在）



男性用トイレ外観イメージ